



一般社団法人日本遠隔医療学会

2020（令和2）年度（第10期）定時総会 議案書

| | |
|-------|--------------------|
| 第1号議案 | 令和元年度(第9期) 事業報告 |
| 第2号議案 | 令和元年度(第9期) 決算・監査報告 |
| 第3号議案 | 令和2年度(第10期) 事業計画 |
| 第4号議案 | 令和2年度(第10期) 予算 |
| 第5号議案 | 会費改定に関わる定款の変更 |

| | |
|------|--------------------------------------|
| 開催形式 | 定款第21条により、電磁的手段による開催 (電子メールによる審議) |
| 審議期間 | 2020年6月12日～6月18日(木) 17:00 |

| | |
|--------------|--|
| *** 関連日程 *** | |
| 理事会 | 電磁的手段(電子メールによる審議) 6月5日(金)～6月9日(火) 17:00 |
| 定時総会 | 電磁的手段(電子メールによる審議) 6月12日(金)～6月18日(木) 17:00 |
| 運営会議 | 電磁的手段(電子メールによる審議) 6月25日(木)～6月30日(火) 17:00 |

第1号議案 2019（令和元年）度（第9期）事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

(1) 発行実績

令和元年度は3冊の日本遠隔医療学会雑誌第15巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第15巻1号 令和元年6月 570部

日本遠隔医療学会雑誌 第15巻2号 令和元年10月 610部（大会使用分40部含む）

日本遠隔医療学会雑誌 第15巻補刊号※ 令和2年3月 600部

※補刊号には、以下の発表抄録を収載した。

①JTTA2019 MORIOKA B演題抄録 ②JTTA スプリングカンファレンス2019抄録

(2) 編集委員会

編集委員会の名簿は以下のとおり。

| | | |
|-----|--------|---------------------|
| 委員長 | 森田 浩之 | 岐阜大学 |
| 委員 | 大山 太 | 東海大学 |
| | 木ノ内 玲子 | 旭川医科大学 |
| | 酒巻 哲夫 | 高崎市医師会看護専門学校 |
| | 鈴木 亮二 | 東北大学 |
| | 東福寺 幾夫 | 高崎健康福祉大学 |
| | 長谷川 高志 | 群馬大学 |
| | 山田 桃子 | NPO法人 medical-e.net |

2. 第23回日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2019 MORIOKA の開催

期日 令和元（2019）年10月5日（土）、10月6日（日）

会場 盛岡市 アイーナ・いわて県民情報交流センター

大会長 小笠原 敏浩 岩手県立大船渡病院

テーマ 遠隔医療はもっと身近になる～イーハトーブから次世代へのメッセージ～

※実施報告書は本会雑誌16巻1号に掲載した。

3. JTTA Spring Conference 2020 の開催

期日及び会場 令和2年（2020）年1月18日（土）、19日（日） 全国家電会館（文京区）

プログラム概要 特別講演・会長講演 計3演題

企画セッション・総務省遠隔医療調査研究事業報告 6セッション 16演題

分科会企画 2分科会

一般演題 7演題、

ランチョンセミナー 1件

参加者数 77人（例年の8割程度）

※実施報告書は本会雑誌16巻1号に掲載した。

II 普及・教育・分科会活動

1. 内保連（一般社団法人内科系学会社会保険連合）への加盟

内保連加盟へ向けての本会体制準備

平成 30 年 12 月 社会保険委員会の設置 委員長 長谷川高志常務理事

内保連加盟申請

令和元年 6 月 加盟申請書提出

令和元年 6 月 加盟通知書受領

内保連での活動

令和元年 8 月 内保連内に遠隔医療関連委員会設置、副委員長に推薦

令和元年 11 月 内保連総会、三保連シンポジウム参加

詳細は、学会雑誌 16 巻 1 号に掲載した。

2. 禁煙推進学術ネットワークとの連携

令和元年 7 月に禁煙推進学術ネットワークと連名で「ニコチン依存症管理料」へのオンライン診療導入に関する要望書を提出した。この活動を機に、禁煙推進学術ネットワークへの入会を招聘された。

3. 厚生労働省遠隔医療従事者研修事業

事業応募

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会を応募団体として、本会を主催団体として、令和元年度遠隔医療従事者研修事業に応募し、受託した。

事業実施計画と実施状況

以下の 8 か所での開催を計画したが、後半の 4 回は COVID-19 感染拡大に伴い、中止とせざるを得なかった。詳細は、学会雑誌 16 巻 1 号に掲載した。

| 回次 | 開催日 | 開催地 |
|-------|-----------------|-----|
| 第 1 回 | 2020 年 2 月 8 日 | 東京都 |
| 第 2 回 | 2020 年 2 月 11 日 | 仙台市 |
| 第 3 回 | 2020 年 2 月 15 日 | 福岡市 |
| 第 4 回 | 2020 年 2 月 24 日 | 岐阜市 |
| 第 5 回 | 2020 年 3 月 1 日 | 大阪市 |
| 第 6 回 | 2020 年 3 月 8 日 | 岡山市 |
| 第 7 回 | 2020 年 3 月 15 日 | 札幌市 |
| 第 8 回 | 2020 年 3 月 12 日 | 高松市 |

4. 分科会の活動

以下の 17 の分科会が活動した。なお、○番号分科会の活動報告は学会雑誌第 16 巻 1 号に掲載した。

| No. | 分科会名 | 英文名称 | 分科会長 | 分科会長所属先 |
|-----|--|--|---------------------|---------------------------------------|
| ① | 国際医療分科会 旧遠隔医療通訳分科会 | SIG Video Remote Medical Interpreting | 瀧澤清美 | NPO 法人地域診療情報 連携協議会 |
| ② | 在宅見守り支援分科会 | SIG Home Telecare | 鈴木 亮二 | 東北大学大学院医学 系研究科医学情報学 分野 |
| ③ | 周産期医療分科会 | SIG Perinatal Telemedicine | 小笠原敏浩 | 岩手県立大船渡病院 |
| ④ | 睡眠遠隔医療分科会 | SIG Sleep Telemedicine | 成井浩司 事務局 吉嶺裕之 | 国家公務員共済組合 連合会虎の門病院 |
| ⑤ | オンラインバイタルモニタ リング分科会 旧在宅生体モニタリング機器情報遠 隔伝送のためのガイドライン策定分 科会 | SIG Guidelines for Telemonitoring Devices from Patient's Home | 中村昭則 | NHO まつもと医療セン ター |
| ⑥ | 精神科遠隔医療分科会 | SIG Telepsychiatry | 岸本泰士郎 | 慶應義塾大学医学部 精神神経科学教室 |
| 7 | 遠隔医療モデル研究分科会 旧遠隔診療モデル研究分科会 | SIG Telemedicine Model | 加藤浩晃 | 京都府立医科大学眼 科学教室 |
| ⑧ | 市民に遠隔医療をやさしく 学んでもらう分科会 | SIG Telemedicine Education for Citizens | 大木里美 | 遠隔医療をとことん 考える会 |
| ⑨ | 歯科遠隔医療分科会 | SIG Teledentistry | 長縄拓哉 | 株式会社ムツー |
| ⑩ | デジタル療法分科会 旧治療アプリ・デジタル療法分科会 | SIG Digital Therapeutics / Digital Therapy | 佐竹晃太 | 日本赤十字社医療セ ンター／CureApp Institute |
| 11 | 皮膚科遠隔医療分科会 | SIG Tele dermatology | 吉崎歩 | 東京大学大学院 医学 系研究科・医学部 皮 膚科学 |
| ⑫ | 循環器における在宅医療分 科会 | | 笠原真悟 | 岡山大学 心臓血管 外科 |
| ⑬ | 遠隔 ICU 分科会 | SIG Tele-ICU | 高木 俊介 | 横浜市立大学附属病 院 集中治療部 |
| ⑭ | オンライン診療分科会 | SIG Online medicine | 黒木春郎 | 医療法人社団嗣業の 会 外房こどもクリ ニック |
| ⑮ | 遠隔医療法務分科会 | SIG Telemedicine Legal | 伊藤寛之 | 弁護士法人 MIA 法律 事務所 |
| 16 | 遠隔医療基盤検討分科会 | SIG Infrastructure of telemedicine | 近藤博史 | 鳥取大学医学部附属 病院医療情報部 |
| ⑰ | オンライン服薬指導分科会 | SIG Online Medication Instruction | 狭間研至 | ファルメディコ株式 会社 |

5. COVID-19 対策に関する会長本会メッセージの発出

理事会幹部及びオンライン診療分科会長の協議により、2020年4月2日に本会ホームページに会長からの意見表明を掲載した。

Ⅲ 国際交流活動

1. ISfTeH メンバーシップの維持

2019年度に引続き、2020年度の National Member の継続手続きを行い、Member Ship を維持した。

2. 2020 年 ISfTeH 国際学会に向けての活動

(1) ISfTeH 事務局長来訪への対応

2019年10月 事務局長 Frank Leavens が高崎に来訪。

2020年国際学会の基本的考え方について意見整合を図った。

国際学会から学会長講演および4人の講演者の推薦を依頼した

(2) 台湾遠隔医療学会との交流

11月 2020年度国際学会への参加勧誘のため、2020大会実行委員会事務局メンバーが、台湾・高雄を訪問した。

出張者 東福寺幾夫、大野幸夫、武内康弘

台湾遠隔医療学会幹部と面談し、2020国際学会への参加を要請した。

3. 国際交流委員会 委員長：樽松八平

学会雑誌 16 卷 1 号に報告を掲載した。

Ⅲ 学会組織の運営

1. 幹事会員選挙と役員等選任

(1) 幹事会員の増員決定と半数改選

定款第6条の規定により、2019年3月の理事会において、会員数の増加に合わせて幹事会員数を20人から30人に増員を決定した。

2019年の選挙においてはその半数の15人を選出することとした。

15人の内、5人を理事会指名とし、残り10人を正会員による選挙で選出すこととした。

理事会による幹事会員の氏名

2019年3月の理事会において、以下の5人を理事会指名の幹事会員と決定した。

| 氏名 | 所属 | 本会の現役職 |
|--------|----------------|-----------------------|
| 森田 浩之 | 岐阜大学 | 理事・副会長、編集委員長 |
| 東福寺 幾夫 | 高崎健康福祉大学 | 専務理事・事務局長、 選挙管理委員長 |
| 長谷川 高志 | NPO 法人日本遠隔医療協会 | 常務理事、社会保険委員長 |
| 鈴木 孝昭 | たかさき医療総合法律事務所 | |
| 武藤 真佑 | 医療法人社団鉄祐会 | |

正会員による幹事会員選出

2019年4月に公示した正会員による選挙の結果、以下の10人の幹事会員と補欠2人を決定し、当選者については就任承諾を得た。

| 当落 | 候補者氏名 | 所属 |
|------|-------|-----------------------|
| 当選 | 鈴木 亮二 | 東北大学大学院医学系研究科医学情報学分野 |
| 当選 | 郡 隆之 | 利根中央病院 |
| 当選 | 黒木 春郎 | 医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック |
| 当選 | 笠原 真悟 | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 |
| 当選 | 大山 太 | 東海大学 健康科学部 |
| 当選 | 加藤 浩晃 | 京都府立医科大学 |
| 当選 | 福島 明宗 | 岩手医科大学 医学部 臨床遺伝学科 教授 |
| 当選 | 石子 智士 | 旭川医科大学 医工連携総研講座 |
| 当選 | 吉田 晃敏 | 旭川医科大学 学長 |
| 当選 | 太田 隆正 | 太田病院 |
| 補欠1位 | 佐竹 晃太 | 株式会社キュア・アップ |
| 補欠2位 | 島田 祥士 | 医療法人善会細谷クリニック 脳神経外科 |

(2) 理事の選任

予備選挙の実施

2019年5月に幹事会員による理事の予備選挙を実施し、以下の10人を理事候補として6月の定時総会に提案した。

| 氏名 | 所属 |
|--------|------------------------|
| 長谷川 高志 | NPO 法人日本遠隔医療協会 |
| 郡 隆之 | 利根中央病院 |
| 近藤 博史 | 鳥取大学医学部附属病院 医療情報部 |
| 東福寺 幾夫 | 高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科 |
| 鈴木 亮二 | 東北大学 |
| 森田 浩之 | 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野 |
| 坂田 信裕 | 獨協医科大学医学部 基本医学 情報教育部門 |
| 山田 桃子 | NPO 法人 medical-e.net |
| 武藤 真祐 | 医療法人社団鉄祐会 |
| 岡田 宏基 | 香川大学医学部医学教育学講座 |

令和元年度定時総会における承認

上記10人を2020年定時総会において理事として選任することを全会一致で承認した。

理事役職の選任

令和元年度定時総会後の理事会において、以下の理事役職を互選により決定した。
また、全理事から就任の承諾を得た。

| 役職 | 氏名 |
|---------|--------|
| 代表理事・会長 | 近藤 博史 |
| 副会長 | 森田 浩之 |
| 専務理事 | 東福寺 幾夫 |
| 常務理事 | 長谷川 高志 |

名誉職の設置

同理事会において以下の名誉職を継続することを決定し、該当者に通知した。

| 役職 | 氏名 | 所属 |
|------|-------|--------------|
| 名誉会長 | 原 量宏 | 香川大学 |
| 名誉理事 | 酒巻 哲夫 | 高崎市医師会看護専門学校 |
| 名誉理事 | 吉田 晃敏 | 旭川医科大学 |

(3) 運営会議議員の選任

理事会指名の議員選任

2019年6月の理事会で以下の14人の運営会議議員を指名し、全員の就任承諾を得た。

| 氏名 | 所属 |
|-------|--------------------------|
| 佐竹 晃太 | 株式会社キュア・アップ/日赤医療センター |
| 島田 祥士 | 医療法人民善会細谷クリニック 脳神経外科 |
| 中村 昭則 | NHO まつもと医療センター |
| 尾形 優子 | メロディーインターナショナル(株) |
| 荒木 玲子 | (有)柴崎薬局 ファーマシーはとり薬局 |
| 亀井 智子 | 聖路加国際大学 |
| 高橋 裕子 | 京都大学 日本禁煙科学会 |
| 本間 聡起 | 埼玉メディカルセンター |
| 松本 浩樹 | 前橋工科大学 |
| 村上 礼子 | 自治医科大学看護学部 日本ルーラルナースング学会 |
| 吉嶺 裕之 | 社会医療法人春回会 井上病院 |
| 高木 俊介 | 横浜市立大学附属病院 集中治療部 |
| 吉崎 歩 | 東京大学大学院 医学系研究科・医学部 皮膚科学 |
| 三瓶 宏一 | NPO法人 インド福祉村協会 |

2. 総会の開催

令和元年度定時総会は以下のごとく開催した。

| | |
|------|---|
| 期 日 | 令和元年(2019年)6月22日(土) |
| 会 場 | 御茶ノ水ホテルジュラク |
| 議事内容 | 第1号議案 平成30年度事業報告 第2号議案 平成30年度決算報告 第3号議案 令和元年度事業計画 |

- 第4号議案 令和元年度予算
- 第5号議案 登記上の事務所移転に伴う定款の変更
- 第6号議案 理事の選任

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり7回開催した。

【令和元年度第1回理事会】 通信による審議

- 審議期間 2019年6月12日(水)～同年6月14日(金)
- 審議事項 第1号議案 委員長の選任について
- 第2号議案 運営会議規則の一部集修正について
- 第3号議案 会長指名の運営会議議員の選任について

【令和元年度第2回理事会】

- 日時 6月22日(土)午前(総会前・旧理事による)
- 場所 お茶の水ホテルジュラク 白鳥の間
- 議題 第1号議案 定時総会議案書の承認
- 第2号議案 新入会員の承認
- 非決議事項 1. ガイドライン制定手続きについて
- 2. 2020年保険点数改定に向けた動きについて
- 3. 本会組織運営体制の強化について
- 4. 本会の将来構想について

【令和元年度第3回理事会】

- 日時 6月22日(土)午後(総会后・新理事による)
- 場所 お茶の水ホテルジュラク 白鳥の間
- 議題 理事役職社の選任

4. 運営会議の開催

運営会議は、以下のごとく4回開催した。

【令和元年度第1回運営会議】

- 開催日 令和元年6月22日(土)
- 場所 御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
- 議題 1. 新役員紹介
- 2. 幹事会員紹介
- 3. 運営会議議員照会
- 4. 委員長紹介
- 5. 総会報告
- 6. 学術大会準備状況報告
- 7. ガイドライン制定手続きの検討について
- 8. 内保連加入手続きについて

9. 本会将来構想と組織運営体制について
10. Spring Conference 2020 開催日程について
11. 学会雑誌発行計画について
12. 今年度の会合日程について
13. 分科会の更新について

【令和元年度第2回運営会議】

開催日 令和元年10月4日（金）

場所 盛岡市 アイーナ 8F 804B 会議室

- 議題
1. 分科会の継続・新規結成の承認
 2. 内保連における活動について報告
 3. 学術大会準備状況報告
 4. JTTA 2022 の大会長・開催地候補を決定
 - ・2022年 埼玉県 本間聡起先生
 - ・2023年 新潟 児玉直樹先生
 5. 編集委員会報告
 6. 近藤博史会長から報告・問題提起
 - ・欧州では遠隔医療は医療のトランスフォーメーションともいわれている。
 - ・フィンランドのレポネン先生の招待を検討したい。(SC2020 または JTTA2020)
 - ・会員も増加したので、それに見合った運営の仕組みを整備する必要がある。事務局体制強化検討委員会（委員長：東福寺）を設置し、検討したい。
 - ・資格認定制度は厚労省からも実現を求められており、資格認定制度検討委員会を作って検討するよう、岡田理事に依頼した。
 7. Spring Conference 2020
 - 日程は、2020年1月18日（土）、19日（日）となった。
 8. その他

【令和元年度第3回運営会議】

開催日 2019年12月7日（土）

場所 お茶の水ホテルジュラク 白鳥の間

- 議題
1. 会長挨拶
 2. 内保連における活動について
 3. 盛岡での学術大会開催報告
 4. 学術大会準備状況
 - ・JTTA2020/25th 国際遠隔医療学会 郡大会長
 - ・JTTA2021 森田大会長
 5. JTTA 2022 の大会長・開催地について決定
 - ・2022年 本間聡起先生・埼玉県
 - ・2023年 児玉直樹先生・新潟県
 6. 編集委員会から学会誌15巻補刊号編集状況報告

- 7. 優秀論文投票賞について
- 8. Spring Conference 2020 について
 - ・会場・日程 全国家電会館・1月18日(土)、19日(日)
 - ・プログラム概要
- 9. 会長特命事項の推進に向けての規則整備について
- 10. 分科会の継続・新規結成の承認
- 11. 海外遠隔医療関連学術団体との交流推進について
- 12. 国内関連学会との連携について
- 13. 厚労省・遠隔医療従事者研修にについて

【令和元年度第4回運営会議】

- 開催日 令和2年1月19日(日) 昼休み
- 場所 全国家電会館4階B会議室
- 議題
- 1. 遠隔医用従事者研修準備状況について
 - 2. JTTA2020 学術大会準備状況について(郡先生)
 - 3. 遠隔服薬指導分科会設立について
 - 4. 一般社団法人日本遠隔医療学会研修・認定制度検討委員会委員名簿について
 - 5. 一般社団法人日本遠隔医療学会事務局体制強化検討委員会委員名簿について
 - 6. その他

5. 会員の状況

(1) 令和2年3月31日現在会員数

- 正会員 612人(前年度末は580人) 25人の幹事会員を含む。
- 学生会員 38人(前年度末33人)
- 購読会員 7人(前年度末6人)
- 賛助会員 17社(前年度末17社)

(2) 令和元年度新規入会者

- 正会員 106人(前年度98人)
- 学生会員 8人(前年度13人)
- 購読会員 1人(前年度2人)
- 賛助会員 3社(前年度4社)

(3) 令和元年度退会者

- 本人意思 37人(前年度38人)
- 連絡先不明 4人
- 会費滞納 18人(前年度19人)

6. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。英語のページについては更新ができておらず、今後運用の改善が必要である。

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

トップページのお知らせは、31回掲載・更新した。また、学術大会 JTTA2019 のバナーをトップページに掲載し、大会サイトアクセスの便宜を提供した。Spring Conference については、専用ページを作成し、トップページには入り口となるバナーを配置し、情報提供、演題募集、参加登録の便宜を提供した。

以上。

第2号議案 令和元年度（第9期）決算報告

1. 貸借対照表

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|------------|--------------|--------------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| | 円 | | 円 |
| (流動資産合計) | (8,534,012) | (流動負債合計) | (50,000) |
| 普通預金 | 7,519,173 | 前受会費 | 50,000 |
| 定額貯金 | 400,000 | | |
| 学会誌バックナンバー | 595,729 | 負債合計合計 | 50,000 |
| 備品費 | 19,110 | | |
| | | 資 本 の 部 | |
| | | 当期正味財産増加額 | 2,228,235 |
| 資産合計合計 | 8,534,012 | 負債及び正味財産合計合計 | 8,534,012 |

2. 財産目録

| 資 産 の 部 | | 負 債 の 部 | |
|--------------|--------------|--------------|-----------|
| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
| | 円 | | 円 |
| (流動資産合計) | (8,534,012) | (流動負債合計) | (50,000) |
| 郵貯銀行 普通口座ぱるる | 1,034,430 | 前受会費 | 50,000 |
| 郵貯銀行 振替口座 | 109,437 | | |
| 群銀 高崎 | 83,702 | 負債合計合計 | 50,000 |
| 群銀 高崎栄町 | 356,959 | | |
| Pay Pal | 249,720 | 資 本 の 部 | |
| 群銀 米子資金 | 5,684,925 | 前期繰越正味財産 | 6,255,777 |
| 定額貯金 | 400,000 | 当期正味財産増加額 | 2,228,235 |
| 学会誌バックナンバー | 595,729 | | |
| 備品費 | 19,110 | 負債及び正味財産合計合計 | 8,534,012 |
| 資産合計合計 | 8,534,012 | 負債及び正味財産合計合計 | 8,534,012 |

3. 収支報告書

収 支 報 告 書

自平成31年4月1日
至令和2年3月31日

| 科 目 | 金 額 | 円 |
|------------------------|-----------|--------------|
| 【会 費 収 入】 | | |
| 幹事会員会費収入 | 300.000 | |
| 正会員会費収入 | 3,690.000 | |
| 学生会員会費収入 | 108.000 | |
| 購読会員会費収入 | 24.000 | |
| 賛助会員会費収入 | 570.000 | |
| 過年度会員会費収入 | 268.000 | 4,960.000 |
| 【参 加 費 収 入】 | | |
| 役員研修会参加費収入 | 130.000 | |
| SpringConference参加収入 | 1,079.000 | |
| ランチョンセミナー参加費 | 300.000 | 1,509.000 |
| 【学 会 誌 事 業 収 入】 | | |
| J T T A論文掲載料 | 216.000 | |
| 学会誌別冊作成 | 38.760 | |
| 学会誌バックナンバー販売 | 93.000 | |
| 著作権使用料 | 10.120 | 357.880 |
| 【そ の 他 収 入】 | | |
| 受 取 利 息 | 70 | 70 |
| 【寄 付 金 収 入】 | | |
| 寄 附 金 収 入 | 1,380.488 | |
| 学術集会立替金返金 | 641.690 | 2,022.178 |
| 経常収入合計 | | (8,849,128) |
| 【事 業 費】 | | |
| 役員研修会開催費 | 300.000 | |
| SpringConference開催費 | 1,449.647 | |
| 委員会活動費 | 407.080 | |
| 分科会活動助成金 | 38.955 | |
| 広報活動費 | 123.200 | |
| 会 議 費 | 236.737 | |
| 機関誌印刷費 | 1,839.185 | |
| 論文別冊印刷費 | 30.360 | |
| IS f TeH年会費 | 56.505 | 4,981.669 |
| 【管 理 費】 | | |
| 事務局人件費 | 47.000 | |
| 事務局業務委託費 | 269.022 | |
| 国内旅費 | 180.030 | |
| 運搬通信費 | 315.042 | |
| 手数料 | 22.856 | |
| 消耗品費 | 299.672 | |
| 税理士報酬 | 330.000 | |
| 雑 費 | 23.280 | |
| 租 税 公 課 | 40.000 | |

| 科 | 目 | 金 | 額 |
|------------|-----------|---------|--------------|
| | | | 円 |
| 学術大会準備金 | | 300,000 | 1,526,902 |
| | 経常支出合計 | | (6,508,571) |
| | 経常収支差額 | | (2,340,557) |
| | その他資金支出合計 | | (112,322) |
| バックナンバー廃棄損 | | 112,322 | |
| | 当期正味財産増加額 | | (2,228,235) |
| | 当期正味財産合計 | | (8,484,012) |

4. 監査報告書

監査報告書


私は、令和2年5月27日、役員より提出された平成31（令和1）年分事業報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録について総勘定元帳ならびに証憑書類の提出を求め、所定の監査を実施しました。

その結果、適正に処理されていると認められたのでここに報告します。

令和2年5月27日

一般社団法人 日本遠隔医療学会

監 事

吉井 宏文 

第3号議案 2020（令和2）年度（第10期）事業計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

| | | | |
|------------|--------|------------|--------|
| 日本遠隔医療学会雑誌 | 16巻1号 | 2020年6月発行 | 650部程度 |
| 日本遠隔医療学会雑誌 | 16巻2号 | 2020年12月発行 | 650部程度 |
| 日本遠隔医療学会雑誌 | 13巻補刊号 | 2021年3月発行 | 650部程度 |

(2) 学術集会開催

第24回日本遠隔医療学会学術大会（JTTA2020） & 25thISfTeH International Conference

| | |
|------------|--------------------|
| 大会長 | 郡 隆之（利根中央病院） |
| 副大会長 | 齋藤 雄一郎（群馬大学） |
| 国内プログラム委員長 | 加藤 浩晃（デジタルハリウッド大学） |
| 国際プログラム委員長 | 岸本 泰士郎（慶応大学） |
| 実行委員長 | 松本 浩樹（前橋工科大学） |
| 開催期間 | 2021（令和3）年2月 |
| 開催方法 | Web 開催 |

JTTA Spring Conference 2020（JTTA2020 と同時開催）

| | |
|------|--------------|
| 開催期間 | 2021（令和3）年2月 |
| 開催方法 | Web 開催 |

(3) 学術大会開催準備

第25回日本遠隔医療学会学術大会（JTTA2021）

| | |
|-----|---------------|
| 大会長 | 森田 浩之（岐阜大学） |
| 開催日 | 2020年10月8日、9日 |
| 会場 | 岐阜市 じゅうろくプラザ |

第26回日本遠隔医療学会学術大会（JTTA2022）

| | |
|-----|--------------------|
| 大会長 | 本間 聡起（埼玉メディカルセンター） |
| 開催日 | 未定 |
| 会場 | さいたま市 |

第27回日本遠隔医療学会学術大会（JTTA2023）

| | |
|-----|-----------------|
| 大会長 | 児玉 直樹（新潟医療福祉大学） |
| 開催日 | 未定 |
| 会場 | 新潟市 |

2. 普及啓発活動

研修を企画し、正しい知識の啓発と人材育成を図る。

3. 国際交流・広報活動

(1) 海外関連団体との連携

25th ISfTeH International Conference 成功に向けて、ISfTeH や各国の遠隔医療関連団体との情報交換を進め、連携体制を整備する。

(2) ホームページのリニューアルと運用

ホームページを使いやすく改造し、英語ページの運用を定着させる。

(3) 各方面からの問合せへの対応

報道機関その他の問い合わせに、タイムリーに対応する。

4. 政策支援活動

内保連・禁煙推進学術ネットワークと連携して、医療保険制度に関わる活動を展開する。

5. 組織運営体制の再構築と運営

(1) 2021 年幹事会員の改選準備

- ・ 2021 選挙における幹事会員改選数の改定 10 人→15 人
- ・ 2021 選挙における理事会選任幹事会員数の改定 3 人→5 人
- ・ 幹事会員選挙の実施
- ・ 幹事会員による理事候補の予備選挙の実施

(2) 総会

定時総会 2020 年 6 月 メール審議による開催

(3) 理事会

第 1 回理事会 2020 年 6 月 メール審議による開催

第 2 回理事会 2020 年 12 月 12 日 (土) 東京・ホテルジュラク
またはメール審議による開催

第 3 回理事会 2021 年 2 月 メール審議による開催

(4) 運営会議

第 1 回運営会議 2020 年 6 月 メール審議による開催

第 2 回運営会議 2020 年 10 月 メール審議による開催

第 3 回運営会議 2020 年 12 月 12 日 (土) 東京・ホテルジュラク
またはメール審議による開催

第 4 回運営会議 2021 年 2 月 メール審議による開催

(5) 事務局

- ・ 財務・会計 健全・正確な財務会計を運営、会費・掲載料の適正な収納。
- ・ 会員管理 正確な名簿の維持、会員サービスの適時提供。
- ・ ホームページ タイムリーで正確な情報発信。英語発信力向上を目指した運用再検討。
- ・ 役員、委員会、分科会活動、市民活動の適切な支援
- ・ ISfTeH 窓口業務の遂行とメンバーシップの更新
- ・ その他 会の運営維持に関わる事項を遅滞なく実施する

(6) 委員会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 17 巻 1 号に掲載する。

- ・編集委員会 学会雑誌 16 巻 1, 2、補刊号の発行
- ・普及委員会 Spring Conference 2021 開催、日本遠隔医療協会事業への協力支援。
- ・社会保険委員会 内保連との連携と医療保険制度の周知
- ・国際交流委員会 国際交流の支援、ISfTeH2020 の広報企画
- ・選挙管理委員会 2021 年度幹事会員選挙の準備

(7) 分科会・・・年度末に活動報告を提出し、学会誌 17 巻 1 号に掲載する。

- ・分科会の継続確認
- ・適切な助成の実施

第4議案 2020（令和2）年度（第10期）予算

第10期の収支計画は以下のとおり。

| | 科目 | 2019年度実績 | 予算増減 | 2020予算 | 予算コメント |
|------------|----------------------|------------|------------|-----------------------|---------------------------------|
| 事業収入 | (1) 会費収入 | 4,960,000 | 624,000 | 5,584,000 | |
| | 幹事会員会費 当年度分 | 300,000 | - | 300,000 | 25人 |
| | 正会員会費 当年度分 | 3,690,000 | 550,000 | 4,240,000 | 550人 |
| | 学生会員会費 当年度分 | 108,000 | -8,000 | 100,000 | 25人 |
| | 購読会員会費 当年度分 | 24,000 | - | 24,000 | 3人 |
| | 賛助会員会費 当年度分 | 570,000 | 30,000 | 600,000 | 20社 |
| | 会費 過年度分 | 268,000 | 52,000 | 320,000 | 延べ40人 |
| | (2) 参加費収入 | 1,509,000 | -1,509,000 | - | |
| | 役員研修会参加費 | 130,000 | -130,000 | - | 開催なし |
| | Spring Conference参加費 | 1,079,000 | -1,079,000 | - | JTTA2020と合同開催 |
| | ランチョンセミナー参加費 | 300,000 | -300,000 | - | |
| | 国際ワークショップ参加費 | - | - | - | |
| | (3) 国際交流事業収入 | - | - | - | |
| | ASEAN Forum開催資金 | - | - | - | |
| | (4) 学会誌事業収入 | 357,880 | 32,120 | 390,000 | |
| | 学会誌別刷作成 | 38,760 | -38,760 | - | |
| | JTTA論文掲載料 | 216,000 | -16,000 | 200,000 | 延べ25人 |
| | 学会誌バックナンバー販売 | 93,000 | 87,000 | 180,000 | 6000円×10冊+3000円×10冊 |
| | 広告費 | - | - | - | |
| | その他販売 | - | - | - | |
| | 著作権使用料 | 10,120 | -120 | 10,000 | 医中誌 |
| | (5) その他収入 | 2,022,230 | -1,722,180 | 300,050 | |
| | 受取利息 | 52 | -2 | 50 | |
| | 貸付金戻入れ | - | - | - | |
| | 米子基金から振替 | - | - | - | |
| その他収入 | - | - | - | | |
| 寄付金受け入れ | 1,380,488 | -1,380,488 | - | | |
| 学術大会準備金戻入れ | 641,690 | -341,690 | 300,000 | JTTA2020/30万円 | |
| 当期事業収入合計 | 8,849,110 | -2,575,060 | 6,274,050 | | |
| 事業支出 | (1) 事業費 | 2,555,619 | -845,619 | 1,710,000 | |
| | 分科会活動助成金 | 38,955 | 161,045 | 200,000 | 4分科会×5万円 |
| | 役員研修会開催費 | 300,000 | -300,000 | - | 会場費10万円、飲食12万円 |
| | Spring Conference開催費 | 1,449,647 | -1,249,647 | 200,000 | 講師謝金等 |
| | 国際ワークショップ開催費 | - | - | - | 開催せず |
| | 委員会活動費 | 407,080 | 92,920 | 500,000 | 大会論文査読業務支援委託50万円 |
| | 広報活動費 | 123,200 | 306,800 | 430,000 | HP維持費13万円、HPリニューアル30万円 |
| | 会議費 | 236,737 | -56,737 | 180,000 | 運営委員会6万円×3 |
| | 国際交流費 | - | 200,000 | 200,000 | 2020年国際学会関連活動 |
| | 市民活動助成費 | - | - | - | |
| | ASEAN Forum開催費 | - | - | - | |
| | 国際会議開催費 | - | - | - | |
| | 演者謝金 | - | - | - | |
| | 演者旅費 | - | - | - | |
| | (2) 学会誌事業支出 | 1,797,854 | 412,146 | 2,210,000 | |
| | 機関誌印刷費 | 1,767,494 | 442,506 | 2,210,000 | 各号650冊1号0.8千円2号1.8千円3号0.8千円計4千円 |
| | 機関誌発送費 | - | - | - | |
| | 論文別刷印刷費 | 30,360 | -30,360 | - | |
| | 展覧広告作成費 | - | - | - | |
| | (3) 加盟費 | 256,505 | 3,495 | 360,000 | |
| | 内保連年会費 | 200,000 | - | 200,000 | |
| | 禁煙推進学術ネットワーク年会費 | - | - | 100,000 | |
| | ISfTeH年会費 | 56,505 | 3,495 | 60,000 | 500USD×120JPY/USD |
| | (4) 管理費 | 1,486,902 | 183,098 | 1,670,000 | |
| | 事務局人件費 | 47,000 | 283,000 | 330,000 | パート 3万円×11月 |
| | 事務局業務委託費 | 269,022 | -69,022 | 200,000 | 選挙書類・学会誌等発送業務委託 5万円×4回 |
| | 福利厚生費 | - | - | - | |
| | 国内旅費 | 180,030 | -130,030 | 50,000 | |
| | 海外旅費 | - | - | - | |
| | 運搬通信費 | 308,042 | 91,958 | 400,000 | 選挙・請求書郵便160千、電話40千、ヤマト運輸200千 |
| | 手数料 | 29,856 | 144 | 30,000 | |
| | 消耗品費 | 299,672 | 328 | 300,000 | 封筒・請求書用紙他 |
| | 備品費 | - | - | - | |
| | 税理士報酬 | 330,000 | - | 330,000 | 30万円+税 |
| | 雑費 | 23,280 | 6,720 | 30,000 | |
| (5) 租税公課 | 40,000 | -40,000 | - | | |
| 租税公課 | 40,000 | -40,000 | - | | |
| (6) その他の支出 | 300,000 | - | 1,680,488 | | |
| 学術大会準備金 | 300,000 | - | 300,000 | JTTA2021/30万円 | |
| 機関誌販売原価 | - | - | - | | |
| 貸付金払出し | - | - | - | | |
| 米子基金へ振替 | - | - | 1,380,488 | JTTA2019大会実行委員会からの寄付金 | |
| 寄付 | - | - | - | | |
| 当期事業支出合計 | 6,436,880 | 1,193,608 | 7,630,488 | | |
| 当期事業収入合計 | 8,849,110 | -2,575,060 | 6,274,050 | | |
| 当期事業支出合計 | 6,436,880 | 1,193,608 | 7,630,488 | | |
| 当期事業収支 | 2,412,230 | -3,768,668 | -1,356,438 | | |

第 5 号議案 会費改定に関わる定款の変更

1. 提案の趣旨

本会の会員数も 600 人を超え、会員サービスの維持向上にはそれなりのコストが掛かるようになってきた。また、現在の事務局は事務局長のボランティアに運営を依存しており、これを個人に依存しない組織的運営に切り替えていく必要がある。そのためには、事務局運営コストの増大が避けられず、こうした状況に対応するために、会費の改定を提案することとなった。

2. 提案の具体的内容

本会の会費は、定款に定めており、これを以下のごとく(下線部)改定する。実施時期は、令和 3(2021)年度からとする。

| 現行 (改定前) | 改定 (改定後・2021 年 4 月 1 日施行) |
|---|---|
| 第 6 7 条 この法人の会費は、次に掲げる額とする。理事会で徴収を決定するまでの間は入会金を徴収しない。 | 第 6 7 条 この法人の会費は、次に掲げる額とする。理事会で徴収を決定するまでの間は入会金を徴収しない。 |
| 幹事会員 年会費 12,000 円 | 幹事会員 年会費 <u>15,000 円</u> |
| 正会員 年会費 8,000 円 | 正会員 年会費 <u>10,000 円</u> |
| 賛助会員 年会費 | 賛助会員 年会費 |
| 一口 10,000 円 (3 口以上) | 一口 10,000 円 (<u>5 口以上</u>) |
| 学生会員 年会費 4,000 円 | 学生会員 年会費 4,000 円 |
| 購読会員 年会費 8,000 円 | 購読会員 年会費 <u>10,000 円</u> |

3. 提案の根拠

1) 試算条件

以下の前提条件で収支概要を試算した結果を下表に示す。

- (1) 収入は、会費と Spring Conference とする。
- (2) 支出では事務局人件費の外部委託を想定する。
- (3) その他収支項目は、現状レベルを前提とし、会員数の増加を反映させる。

2) 試算結果

現状の収支は若干の赤字であり、会費据置では会員が増加しても収支が黒字化することはない。したがって、会の健全な運営のためには、会費の値上げが不可欠となる。

| | 項目 | 細目 | 2019実績 概算 (千円) | | | 2021予測 会費据置案 (千円) | | | 2021予測 会費値上げ案 (千円) | | |
|----------|--------------|-----------|----------------------|-------|-------|-------------------------|--------|-------|--------------------------|-------|-------|
| | | | 単価 | 数量 | 金額 | 単価 | 数量 | 金額 | 単価 | 数量 | 金額 |
| 収入 | 年会費 | 幹事 | 12 | 25 | 300 | 12 | 30 | 360 | 15 | 30 | 450 |
| | | 正 | 8 | 450 | 3,600 | 8 | 600 | 4,800 | 10 | 600 | 6,000 |
| | | 学生 | 4 | 27 | 108 | 4 | 30 | 120 | 4 | 30 | 120 |
| | | 購読 | 8 | 3 | 24 | 8 | 3 | 24 | 10 | 3 | 30 |
| | | 賛助 | 30 | 19 | 570 | 30 | 20 | 600 | 50 | 20 | 1,000 |
| | | 過年度分会費 | 8 | 30 | 240 | 8 | 30 | 240 | 8 | 30 | 240 |
| | | 会費収入合計 | | | 4,842 | | | 6,144 | | | 7,840 |
| | Spring Conf. | 会員 | 10 | 50 | 500 | 10 | 60 | 600 | 10 | 60 | 600 |
| | | 非会員 | 12 | 30 | 360 | 12 | 50 | 600 | 12 | 50 | 600 |
| | | 学生 | 4 | 10 | 40 | 4 | 10 | 40 | 4 | 10 | 40 |
| | | 情報交換会 | 6 | 30 | 180 | 6 | 50 | 300 | 6 | 50 | 300 |
| ランチョン | | 200 | 1 | 200 | 200 | 2 | 400 | 200 | 2 | 400 | |
| | SC収入合計 | | | 1,280 | | | 1,940 | | | 1,940 | |
| | 収入合計 | | | 6,122 | | | 8,084 | | | 9,780 | |
| 支出 | 事業費 | 分科会助成 | 50 | 1 | 50 | 50 | 3 | 150 | 50 | 3 | 150 |
| | | 役員研修会 | 150 | 2 | 300 | 200 | 2 | 400 | 200 | 2 | 400 |
| | | SC開催 | 1,500 | 1 | 1,500 | 1,500 | 1 | 1,500 | 1,500 | 1 | 1,500 |
| | | 委員会活動費 | 400 | 1 | 400 | 500 | 1 | 500 | 500 | 1 | 500 |
| | | 広報活動費 | 400 | 1 | 400 | 400 | 1 | 400 | 400 | 1 | 400 |
| | | 会議費 | 100 | 3 | 300 | 150 | 3 | 450 | 150 | 3 | 450 |
| | | 国内旅費 | 12 | 15 | 180 | 12 | 15 | 180 | 12 | 15 | 180 |
| | | 事業費合計 | | | 3,130 | | | 3,580 | | | 3,580 |
| | 加盟費 | 内保連 | 200 | 1 | 200 | 200 | 1 | 200 | 200 | 1 | 200 |
| | | IS f TeH | 60 | 1 | 60 | 60 | 1 | 60 | 60 | 1 | 60 |
| | | 禁煙推進学術ネット | | | | 100 | 1 | 100 | 100 | 1 | 100 |
| | | 加盟費合計 | | | 260 | | | 360 | | | 360 |
| | 学会誌事業費 | 1号印刷費 | 1.0 | 550 | 550 | 1.0 | 650 | 650 | 1.0 | 650 | 650 |
| | | 2号印刷費 | 1.2 | 550 | 660 | 1.5 | 650 | 975 | 1.5 | 650 | 975 |
| | | 3号印刷費 | 0.8 | 550 | 440 | 1.0 | 650 | 650 | 1.0 | 650 | 650 |
| | | 学会誌事業支出合計 | | | 1,650 | | | 2,275 | | | 2,275 |
| | 管理費 | 事務局人件費 | 1 | 50 | 50 | 150 | 12 | 1,800 | 150 | 12 | 1,800 |
| 事務局業務委託費 | | 90 | 3 | 270 | 100 | 3 | 300 | 100 | 3 | 300 | |
| 運搬通信費 | | 15 | 12 | 180 | 20 | 12 | 240 | 20 | 12 | 240 | |
| 消耗品費 | | 300 | 1 | 300 | 400 | 1 | 400 | 400 | 1 | 400 | |
| 税理士報酬 | | 330 | 1 | 330 | 330 | 1 | 330 | 330 | 1 | 330 | |
| 雑費 | | 12 | 2 | 24 | 12 | 2 | 24 | 12 | 2 | 24 | |
| | 管理費合計 | | | 1,154 | | | 3,094 | | | 3,094 | |
| | 支出合計 | | | 6,194 | | | 9,309 | | | 9,309 | |
| | 収支差額 | | | -72 | | | -1,225 | | | 471 | |

以上。